

日本社会保障法学会会報 第41号

発行日：2016.9.1 発行人：加藤智章 編集人：片桐由喜 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21 小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
Tel：0134-27-5367 Fax：0134-27-5367 E-mail：sslaw@res.otaru-uc.ac.jp
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：○名（2016年9月1日現在）

第17期の理事会活動を振り返って

代表理事 加藤智章（北海道大学）

現在の理事会は、この夏に行われる理事選挙に伴い、第18期の理事会に移行します。ここでは、17期の活動を振り返って今後の課題についても触れてみたいと思います。

本年5月28日、同志社大学今出川キャンパスで開催された第69回春季大会の総会において、年1回開催方式が承認されました。2018年から学会は年1回の開催となります。これまでの春季大会にあわせて、5月に開催する方向で具体的な検討が開始されています。これに関連して、第18期の理事・監事に限り、その任期を1年半にすることも第69回春季大会の総会で承認されました。

このように年2回の開催体制は、2016年秋季大会の神奈川大学、2017年春季大会の京都産業大学、続く小樽商科大学で開催される2017年秋季大会で最後となります。

年1回体制への移行は、大会の企画・運営体制の困難さに尽きると思います。しかし、年1回体制に移行することによって、学会を開催する負担が軽減されるわけではありません。社会保障制度が国民生活に大きな役割を果たしている以上、学会に課せられる使命は今後とも重いものがあります。

こうした状況にあって、シンポジウム方式と個別報告とのバランスをどうするのか、いわゆる複数のミニシンポを実施することが可能かなど、具体的にどのように大会を運営していくかが大きな課題のひとつです。

また、大会運営と密接に関連する問題が、学会誌のあり方とHPの充実です。これまで学会誌は年に2回（5月と10月）開催される大会シンポジウムに関する論文について翌年5月をめどに発行する形式をとっていました。学会2回開催分を1冊の学会誌として発行してきたわけです。今後は5月開催の大会終了後、発行作業に取りかかることとなりますし、紙幅にも多少の余裕が出ることになります。これらの埋め合わせを学会活動の維持発展にどのように活用していくのかも、今後の課題といえそうです。

さらに、大会が年1回開催となっても、各地で行われている研究会活動は今後も継続的に運営されてゆくでしょうから、これらの連携をはかり活発な研究交流を深めてゆくことも期待されます。

次期理事会でも、学会のあり方に関する議論が継続されると思います。会員の皆様から多種多様な意見をお待ちしております。

第70回秋季大会開催案内 事務局長 片桐由喜（小樽商科大学）

日本社会保障法学会第70回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。

・日 時：2016年10月15日（土） 9：00～17：00

・会 場：神奈川大学横浜キャンパス（〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1）

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。

記念講演、ミニシンポジウム、総会 : 3号館 305 教室

・お問い合わせ先 Tel : 045-481-5661 (内) 4346 (江口隆裕研究室)

・大会次第 (詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。)

受付開始9:00

開会9:30

ミニシンポジウム① 「遺族年金の国際比較」

司会 : 嵩さやか (東北大学)

○嵩さやか (東北大学)9:30

「本ミニシンポジウムの趣旨と比較検討の視点」

○中野妙子 (名古屋大学)9:35

「スウェーデンにおける遺族年金の概要と理念」

○渡邊絹子 (筑波大学)10:05

「ドイツにおける遺族年金の概要と理念」

○柴田洋二郎 (中京大学)10:35

「フランスにおける遺族年金の概要と理念」

○嵩さやか (東北大学)11:05

「総括－各国比較に基づく遺族年金の理念の検討」

○質疑応答11:15

開催校あいさつ12:05

記念講演 河野正輝 (九州大学名誉教授、第9代代表理事)12:10

司会 : 加藤智章 (北海道大学)

「社会法としての社会保障法・再考－社会福祉法研究を振り返って－」

休憩 (昼食)12:55

総会13:45

ミニシンポジウム② 「被用者の引退と所得保障」

司会：関ふ佐子（横浜国立大学）

- 関ふ佐子（横浜国立大学）……………14:15
「引退過程世代の特徴と課題」
- 清水泰幸（福井大学）……………14:20
「引退過程と公的年金」
- 嶋田佳広（札幌学院大学）……………14:50
「引退過程と雇用保険」
- 脇野幸太郎（長崎国際大学）……………15:20
「引退過程と生活保護」
- 清水泰幸（福井大学）……………15:50
「報告の総括」
- 質疑応答……………16:05

大会終了 …………… 17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要な事項を記載の上、**2016年10月5日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は7,000円です。懇親会の会場は、福臨門（横浜市神奈川区齊藤文町3-6、電話045-48-8883）です。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 丸谷浩介（佐賀大学）

第70回秋季大会は、神奈川大学横浜キャンパスにおいて2016年10月15日（土）に開催されます。午前は嵩さやか理事を中心に、「遺族年金の国際比較」を、午後に関ふ佐子理事を中心に「被用者の引退と所得保障」をテーマにシンポジウムを開催します。また、70回大会を記念し、河野正輝元代表理事（九州大学名誉教授）による記念講演「社会法としての社会保障法・再考—社会福祉法研究を振り返って」が予定されています。

第71回春季大会は、京都産業大学において2017年5月27日（土）に開催される予定です。現在、「現代の生活保護の法的検討」をテーマに大シンポジウムの準備が進んでいます。また、個別報告のエントリーを募集しています。

学会で取り上げるべきテーマなどにつき会員の方からのご意見をお待ちいたしております。個別報告のエントリーと併せ、随時受け付けています。企画委員会まで随時お知らせ頂きますようよろしくお願い申し上げます。

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 丸谷浩介（佐賀大学）

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募ください。募集要領は下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2016年9月30日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付ください。
〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21
小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 西田和弘（岡山大学）

- ・学会誌32号の原稿締め切りは例年どおり12月20日ですので、関係する会員におかれましては締め切りの厳守をお願いいたします。また、69回春季大会報告者の方並びに70回秋季大会報告予定者の方には秋季大会終了後を目途に執筆要領をお送りいたしますので、文献の引用形式等につき要領を遵守していただけますようよろしくお願い申し上げます。
- ・すでに周知済みですが、シンポジウム質疑応答の要約は、担当理事の責任のもと行っていただくこととなっております。念のため会報にてもご案内いたします。
- ・学会誌32号には学会員が執筆した書籍（原則として、2016年1月から12月までに出版されたもの）の出版案内を掲載する予定です。該当書籍についての情報がありましたら、編集委員長の西田までメールにてご連絡ください。（knishida@law.okayama-u.ac.jp）
- ・70回秋季大会では、学会当日の昼食休憩時に編集委員会の開催を予定しております。詳細については追ってメールにてお知らせしますので、編集委員の方はご承知おきください。

○2016年度5月定例理事会（17期）

- ・日時：2016年5月27日（金）16：00～17：30
- ・場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館 421 教室
- ・議事内容
 - ① 第69回春季大会の運営について（略）
 - ② 第70回秋季大会の運営について（略）
 - ③ 第71回春季大会の運営について（略）
 - ④ 第72回秋季大会の運営について（略）
 - ⑤ 学会誌投稿論文について
丸谷企画委員長より現時点で投稿論文の応募がないこと、奨励賞について1本の推薦があったことが報告された。
 - ⑥ 学会誌編集委員会より
西田編集委員長より学会誌31号より抜き刷りの無償配布は行われずPDFで配布された旨の報告がなされた。
 - ⑦2014(平成26)年度決算・2015(平成27)年度予算について
片桐事務局長より2015年度決算について報告。監査報告を受けて承認。
片桐事務局長より2016年度予算（案）について説明。理事会において承認
 - ⑧第73回大会（2018年）以降の運営について
2018年から年1回の大会開催とすることが理事会で決定された。この決定を翌日の総会で諮り、会員の了承を得ることが確認された。なお、年1回となった場合には5月開催となることが加藤代表理事より報告された（労働法学会が10月開催であるため）。
2018年度より年1回開催となることを前提に執行部は第18期に限り理事・監事の任期を1年6か月とする旨の規約改正案を提出した。この提案につき、規約19条に基づき投票を実施し、27名中、25名の賛成多数をもって規約改正の提案が可決された。
 - ⑨理事選挙について
第18期理事の選挙管理委員を中川純会員（北星学園大学）、嶋田佳広会員（札幌学院大学）、川村行論会員（北海道大学）とする執行部案が承認された。
 - ⑩各種委員会等より(略)

○2016年度7月定例理事会（17期）

- ・日時：2016年7月9日（土）16：00～17：30
- ・場所：静岡大学東京事務所 501のA+B教室
- ・議事内容
 - ① 第70回秋季大会の運営について（略）
 - ② 第71回春季大会の運営について（略）
 - ③ 第72回春季大会の運営について（略）
 - ④ 学会誌投稿論文について（略）
 - ⑤ 学会奨励賞について
木下審査委員長より、2016年度奨励賞候補作について審査結果の報告があり、推薦作品について奨励賞授与との結論が示され了承された。
 - ⑥ 学会誌編集委員会より（略）
 - ⑦ 各委員会より（略）
 - ⑧ 第18期理事・監事選挙について
片桐事務局長より選挙管理委員長に中川純会員（北星学園大学）が互選で選出されたことが報告された。また選挙実施要項案が理事会において承認された。

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

・2016年5月27日(金)、7月9日(土)の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。(順不同、敬称略)

香山芳範(宝塚市社会福祉協議会)、田中謙介(埼玉県庁)、杉山有砂(早稲田大学社会科学総合学院)、中村優介(江東総合法律事務所)、余乾生(横浜国立大学院)、高木佳世子(筑紫女学園大学)、木村康之(経堂総合法律事務所)

・2016年5月27日(金)、7月9日(土)の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。(順不同、敬称略)

篠本耕二、永野秀雄、家田愛子、森岡昭雄、澤田庸三、古賀昭典、竹中勲

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部(Tel: 075-702-5830)にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第71回春季大会は、2017年5月27日(土)、京都産業大学にて開催される予定です。

○第70回秋季大会(2016年10月15日)における一時保育の利用申込みについて

第70回大会においては、大会時間中の一時保育を実施いたします。

この一時保育は、神奈川大学構内に開設する一時保育室にて、株式会社タスクフォース(<http://www.taskforce-pr.co.jp>)の保育スタッフが保育を行うものです。

料金や申込方法につきましては、9月5日(月)までに学会ウェブサイトでお知らせいたしますので、ご利用希望の方はご覧ください。

この件に関するお問い合わせは、金川めぐみ会員(和歌山大学、メールアドレスは学会名簿をご参照ください)及び増田幸弘会員(日本女子大学、メールアドレスは学会名簿をご参照ください)の両方をお願いいたします。

○【お詫び】名簿について

本学会の名簿は春季大会会報と一緒に発送される振込用紙を活用して、会員の登録情報の変更などを把握して作成しています。しかしながら、今年度の春季大会会報発送の際に、名簿作成を周知する文書を同封することを失念したため、名簿作成作業が今年度はできません。大変申し訳ありません。2017年春季大会の会報を送る際に、あらためて名簿作成の周知をします。ご協力、よろしく申し上げます。